

# 「JA自己改革」広報誌連載企画 第5号（4月広報誌）原稿 テーマ「JAの仲間づくり（前編：直売所の活用）」

## 1. 農業振興の応援団（准組合員）を増やしましょう

農業・農村構造が大きく変化し、農業者の減少や農村における非農業者の増加など混住化がすすむ中で、私たちが目指す「持続可能な農業」と「豊かでくらしやすい地域社会」を実現するため、**農業者と地域住民の連携**の重要性が高まっています。

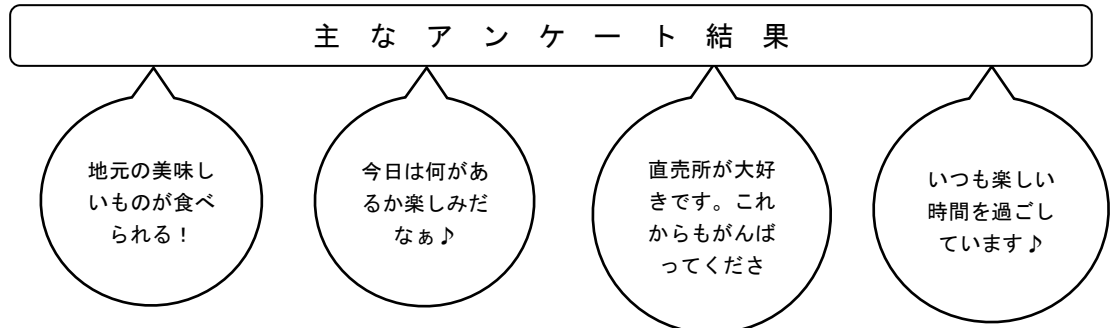
JAグループでは、事業利用者である准組合員を「**農業振興の応援団**」と位置付け、その“仲間づくり”に取り組めます。

では、農業者の皆さんと准組合員との**接点**はどこにあるのでしょうか。

## 2. 農業者と消費者との最大の接点は「直売所」

最大の接点は「**直売所**」です。「直売所」は、農業者の皆さんと消費者をつなぐ場であり、消費者のニーズに応えながら、安全・安心の美味しい食を提供することができ、地域の食を支えることに直結しています。

現在、県内で21店舗の「直売所」が設置され、7千人を超える農業者の皆さんから出荷を受けています。また、平成29年度の総売上高は約48億円、来客数は約350万人となり、JAグループが行ったアンケートからも、多くの方々に「直売所」を親しんでご利用いただいていることが分かります。



## 3. 広がる“仲間づくり”の可能性

さらに全国では、「直売所」を活用し栽培体験学習などの食農教育や定期的な対面販売イベントが開かれるなど、農業者の皆さんと地域住民、あるいは地域住民同士の**つながりを深める場**として「直売所」は、その活用に様々な可能性を秘めています。

今後も、「直売所」を“仲間づくり”の拠点として、皆さんと地域とのつながりをもっともっと深めていきたいと思っています。「こんな取り組みがあれば面白いな、参加したいな」など、「直売所」を活用したアイデアを是非お寄せください。（直売所運営協議会、各JAホームページの意見募集フォーム等）

JAグループは、皆さんとともにJA自己改革を推し進めていきます。